

TOPICS

01 ● Honda Cars 駿河 「子どもたちを交通事故から守りたい」、 「自分たちも楽しむ」という想いで取り組む



西方保育園では年長クラスと年中クラスそれぞれで「あやとりい」と「Honda交通安全かるた」を活用した交通安全教室を実施

静岡県菊川市、掛川市、牧之原市で5拠点を展開するHonda Cars 駿河は5月11日、菊川市にある西方保育園で「あやとりいひよこ編」(以下、あやとりい)を活用した交通安全教室を開催した。同社は、スタッフが拠点の近隣にある幼稚園・保育園に向いての交通安全教室を4年前から行っている。

Honda Cars 駿河 代表取締役会長の清水厚さんは「『あやとりい』の存在を知り、当社の社会貢献活動の1つとして始めました」と振り返る。この活動は菊川市や掛川市の幼稚園・保育園に口コミで広がり、今



年度は17園から開催の依頼を受けている。

同社では、拠点スタッフ3名と本社スタッフ1名の4名体制で教室を運営している。「お子さんの関心を引きつけ、わかりやすく話すように工夫することは、通常の接客にも活かせる部分が多いと思います」と、清水さんは入社1年以内のスタッフを中心に「あやとりい」を担当してもらうよ

うにしている。

指導者役となった樋高真紀さんは「『子どもたちを交通事故から守りたい』という想いと『自分たちも楽しむ』という気持ちで取り組んでいます。回を重ねていくうちに、この活動の重要性も感じるようになりました。できるだけ多くの園で開催していきたい」と話す。

今年度からは樋高さんの発案で「あやと

りい」だけでなく、「Honda 交通安全かるた」も交通安全教室に取り入れている。また、交通安全教室には同社が所有するポニーを同行させている(写真参照)。「遊び心も大切です。お子さんに喜んでいただければ、それでいい」と清水さんは笑う。「こうした活動を通じて、お子さんを教育していくことの必要性を全スタッフで共有していきたいと思っています」。

写真左から、Honda Cars 駿河の片山大樹さん(掛川インター店)、川口真奈さん(菊川店)、樋高真紀さん(本社)、藤田正勝さん(掛川東店)



Honda Cars 駿河が所有しているポニーの「ミスター・エド」。交通安全教室に同行させ、子どもたちに乗馬や餌やりの体験ができるようにしている

02 ● Honda Cars 東京中央 自転車シミュレーターを活用し、 東京都が推進する自転車安全利用の取組みに貢献



4月29日、二子玉川ライズショッピングセンター(東京都世田谷区)で開催された「自転車安全利用TOKYOキャンペーン」

キックオフイベントで、Honda Cars 東京中央に主催する東京都青少年・治安対策本部より「自転車安全利用功労者に対する本



東京都青少年・治安対策本部から感謝状を受け取り、挨拶を述べるHonda Cars 東京中央 社長の梶谷忠生さん

部長賞」が贈呈された。

都内に73拠点を展開するHonda Cars 東京中央は、平成25年より社会貢献活動の一環としてHonda自転車シミュレーターを活用した安全運転啓発活動等を行い、積極的に自転車交通事故防止活動を推進。事業者内での自転車安全利用リーダーの育成等を目的とした東京都主催のセミナーに講師を無償で派遣するなど、自転車の安全利用推進に貢献していることが評価された。贈呈式に出席した同社社長の梶谷忠生さんは「自動車ビジネスにHonda Cars 東京中央は東京都内で開催される地域イベントなどでも、自転車シミュレーターを活用した交通安全教育を展開している

携わる者の責任として、地域の交通安全に何らかの形で貢献したいと思い、活動を続けています。それが、こうした形で評価していただけたことは励みになります」と語った。



03 ●第17回全国自動車教習所教習指導員安全運転競技大会 安全運転の技術を競い合い、指導力向上につなげる



6月1日、2日の両日、鈴鹿サーキット交通教育センター(三重県鈴鹿市)で「第17回全国自動車教習所教習指導員安全運転競技大会」(主催:本田技研工業(株)安全運転普及本部、後援:一般社団法人全日本指定自動車教習所協会連合会、本田技研工業(株)法人営業部)が開催された。

同大会は、全国の自動車教習指導員の自己研鑽への動機づけや、他の教習所との交流の場を提供することを目的に2001年より毎年開催されている。

今大会には25都府県84校から157名の選手が参加し、各競技の審判として23校25

名の教習指導員が協力した。

選手は普通二輪部門、大型二輪部門、四輪部門に分かれ、運転技術の正確さやタイムを競う4種目の実技競技と、実技指導力に取り組んだ。

表彰式では大会運営委員長の原田洋一・本田技研工業(株)安全運転普及本部事務

局長から入賞した選手にトロフィが手渡された。また、普通二輪部門総合1位の東部自動車学校(静岡県)・水口博隆さん、同2位の大阪香里自動車教習所(大阪府)・末石辰也さん、大型二輪部門総合1位の安城自動車学校(愛知県)・小山哲郎さん、同2位のアヤハ水口自動車教習所(滋賀県)・和田一樹さん、四輪部門総合1位のアヤハ水口自動車教習所(滋賀県)・林勇樹

さん、同2位の山口県萩自動車学校(山口県)・波田昌之さんには、全日本指定自動車教習所協会連合会会長賞も贈呈された。

「実技指導力」では、安全運転の指導者として必要な知識と指導力を、テーマに対するレポートを作成しながら選手同士で確認し合う



普通二輪部門「バイロスラローム」



四輪部門「ブレーキング回避」